

二〇二四年度 学校推薦型選抜  
経済情報学部経済情報学科 特別推薦

小論文 問題冊子（解答時間 九〇分）

注意事項

- 一 監督者の指示があるまでは、配布された問題用紙、解答用紙を開いてはいけません。
- 二 試験開始後、問題用紙および解答用紙がそろっているか確かめよ。  
問題用紙（この表紙を含め 七 枚）  
解答用紙（三 枚）  
もし足りない場合は、監督者に知らせること。
- 三 解答用紙の受験番号記入欄に、もれなく受験番号を記入すること。
- 四 解答は、**縦書き**で記入すること。
- 五 解答用紙のみを提出し、配布された問題用紙は持ち帰ること。

問題一 次の文章を読んで、次の問題に答えなさい。

《原文の二次使用の許諾が得られなかったため、非掲載》



(出典 アンデシュ・ハンセン著／久山葉子訳  
『スマホ脳』新潮社 二〇二一年 一部改変して出題)

問一 棒線部①にあるように、筆者がスマートフォンを遠ざけることが困難な理由を、不確かな結果への偏愛というキーワードを用いて、百十字以内で説明しなさい。

問二 この問題文は『スマホ脳』と題された著作から一部改変して出題しているが、問題文に対してふさわしいと思われるサブタイトルを二十字以内で書きなさい。

問三 スマホ依存について、どのような意見を持ちましたか。スマホ依存の問題点や課題を明らかにし、あなたの考えを三百二十字以内で述べなさい。

## 問題二 次の文章を読んで、次の問題に答えなさい。

親の学歴や所得が低いために、その子どもが十分な教育を受けられず、また低学歴・低所得に陥っていく状態を「貧困の世代間連鎖」といいます。文部科学省によると、義務教育を受ける子どものうち、就学援助制度の利用者率は年々増加傾向にあり、二〇一二年度には約一六％に達しました。このうち、東京や大阪などの大都市圏はとくに高く、二〇一二年度にはそれぞれ二四・二％、二八・一％と全体の三割弱にも上っています。子どもの貧困はもはや、マイナーな問題ではありません。

一方で、自治体の就学援助関連予算は削減の方向にあり、就学援助を縮小する自治体が相次いでいます。二〇一四年四月だけを見ても、全国の主要自治体のうち、少なくとも九市区が、四月から就学援助の対象者を決める所得を引き下げました。貧困に陥る子どもが増加するなかで、就学援助を縮小することは、貧困世帯の子どもをますます不利な立場に追いやるのではないかと心配されるところです。

貧困の世代間連鎖は、当然断ち切らねばなりません。しかし、家庭の資源の不足に対処するため、親への所得移転（＝補助金）を行えばよいのかといえば、話はそう単純ではありません。今までいくつかの開発途上国で、日本で行われたような「子ども手当」のような補助金が支給されたことがあります。もしこの補助金を得た親の子どもの学力が高まれば、親への補助金は正当化されるはずですが。しかし、実験の結果、「子ども手当」のような補助金は学力の向上には因果効果を持たなかったことが明らかにされています。

家庭の資源の格差によって生じる子どもの学力の格差を、親への所得移転によって解決すべきなのかについては慎重な議論が必要です。なぜなら、貧困家庭の親に対する所得移転が、子どもの学力を上昇させる因果効果を持つかどうかについては、いまだ①コンセンサスが得られていないからです。

誤解を招かないよう強調しておきたいのですが、私は生活保護や就学援助を減らせといっているわけではありません。家庭における資源の格差を、所得移転ではなく、学校の資源配分を変える、つまり就学援助を受けている子どもや、そうした子供の比率が高い学校には、重点的に学校の資源を配分する方法によって解決できないかと考えているのです。

たとえば、少人数学級も選択肢のひとつです。スタープロジェクト（一九八五年～八九年にかけて少人数学級が学力を上昇させるかを明らかにする目的で米国テネシー州政府が行った実験）の結果をみても、少人数学級は貧困世帯の子どもの効果がとくに大きかったことが明らかになっています。このことから、少人数学級を全国の公立小学校の一年生「全員」を対象にするのではなく、就学援助を受けている子どもが多い学校のみで導入すれば、大きな効果がみられたかもしれません。

既に述べたとおり、家庭の資源が子どもの学力に与える影響は大きいのです。だからこそ、全員に同じ教育を行うことに拘泥せず、格差を縮小するような方向で学校の資源配分を考えるべきではないでしょうか。

資源配分の観点以外でも、私は日本の教育の「平等主義」に疑問を持っています。「平等主義」はときに意図せぬ結果を招くことがあるのです。神戸大学の伊藤准教授らの研究では、学校で平等を重視した教育―「手をつないでゴールしましょう」という方針の運動会など―の影響を受けた人は、他人を思いやり、親切にし合おうという気持ちに「欠ける」大人になっってしまうことが明らかになっています。この理由を、この論文の著者の一人である大阪大学の太竹教授は、オックスフォード大学の荻谷教授の一九九五年の論文を引用しつつ、次のように指摘しています。

平等主義的な教育は、「人間が生まれながらに持つ能力には差がない」という考え方が基礎となっています。ですから、努力次第で全員がよい成績を取れると考えるわけです。しかし、残念ながら、現実にはそうではありません。子どもの学力には、遺伝や家庭の資源など、子ども自身にはどうしようもないような要因が大きく影響しています。しかし、平等主義的な教育のもとでは、こうした現実にはあまり目が向けられることはありませんでした。この結果、子どもは、本人が努力しさえすれば教育によって成功を得られる、別の言い方をすれば、成功しないのは、努力をせずに怠けているからだと考えようになってしまう、不利な環境におかれている他人を思いやることのないイヤなタイプの人間を多く育ててしまったのです、と。

日本の教育の「平等主義」は、<sup>②</sup>エビデンスベーストの教育政策を実現にするにあたっても足かせになっています。同じ世代の子どもにも平等に教育を行うということは、実験でいうところの対照群をつくるのが難しいので、教育政策の因果効果を定量的に明らかにすることができないからです。

また、世代内の平等を重視しすぎると、万が一にもその時の教育政策の舵取りが間違っていた場合、被害が世代全体に及んでしまいます。世代内では平等だからいいじゃないかという人もいるかもしれませんが、世代「内」では平等でも、世代「間」では不平等、という事態が生じます。「ゆとり世代」とか「ポストゆとり世代」などと言われているのは、世代「間」の不平等のいい例でしょう。

(中室牧子『学力』の『経済学』ディスカバー・トゥエンティワン(二〇一五年)より  
一部改変して出題)

問一 傍線部①、②に示した言葉の意味を示す漢字二文字の熟語をそれぞれ答えなさい。

問二 著者が「子ども手当」に対して慎重な議論が必要と考えている理由を、一五〇字以内でまとめなさい。

問三 問題文で示されている日本の教育の「平等主義」の問題点のうち一つを取り上げ、なぜそれが問題であるか具体的に生じる問題点を踏まえ、自身の考えを一五〇字以内でまとめなさい。







受験番号 ( )

一般推薦小論文および特別推薦小論文問題一

・アンデシュ・ハンセン著／久山葉子訳

『スマホ脳』新潮社 二〇二〇年初版 二〇二一年十七刷 一部改変して出題  
問一

【出題意図】

・受験者の読解力および要約力を検査する。

【解答のポイント】

形式上のポイント

- ・理由を説明せよという設問の要求に対して「くから」という形式で説明できているか。
- ・記述した文章の論理が明確であるか。
- ・読み手に分かりやすい、伝わりやすい表現ができているか。

内容上のポイント

- ・不確かな結果への偏愛というキーワードを適切に用いることができているか。
- ・不確かな結果への偏愛について、筆者がその理由を記述している内容、すなわち、人間の進化の過程として長らく存在している脳内物質がドーパミンであること、そして現代社会の利器であるスマートフォンが期待や過程（くかもしれない）を通じてドーパミンの量を強化することから、人間がスマートフォン依存をなくすことは困難である、という説明ができているか。

【解答例】

人間の生存を目的とする脳の伝達物質の一つがドーパミンである。ドーパミンは、不確かな結果への偏愛をもたらす。スマートフォンは、不確かな結果への偏愛の傾向を強化するか、人間がスマートフォン依存をなくすことは困難である。（百八文字）

問二

【出題意図】

・受験者の読解力および要約力を検査する。

【解答のポイント】

形式上のポイント

- ・記述した文章全体のイメージができているか。
- ・読み手に分かりやすい・伝わりやすい表現ができているか。

### 内容上のポイント

- ・長きに渡って存続する人類の脳の特性が、スマートフォンをはじめとするデジタル社会に適応していないためスマートフォン依存になっていることを、端的に表現できているか。

### 【解答例】

スマートフォンは私達の最新の依存症 (十七文字)

問三

### 【出題意図】

- ・受験者の読解力および要約力を検査する。

### 【解答のポイント】

#### 形式上のポイント

- ・問題の提示、背景の説明、対策の提示、という3つの構造による記述がなされているか。
- ・読み手に分かりやすい・伝わりやすい表現ができているか。

#### 内容上のポイント

- ・本問題は、スマートフォンの依存について意見を問うている。スマートフォン使用の賛否を問うているわけではなく、賛否両論の根拠を整理できているか。
- ・近年スマートフォンに代表されるデジタル化は多くの利便性をもたらしていることを認めた上で、問題があることを論じられているか(問題提示。後述 部)。
- ・スマートフォン依存になる理由を人間関係の在り方や脳の特性に関する内容から説明できているか(背景の説明。後述 部)。
- ・依存症にならないための予防策を記述する一方で、スマートフォン依存の危険を知る必要性を適切に説明できているか(対策の提示。後述 部)。

### 【解答例】

近年、スマートフォンは私達の生活に利便性をもたらしている。しかしながら、スマートフォンの過度な利用が、脳をハッキングすることで、学力低下や生活習慣や健康に関する問題を引き起こしている。こうした背景として、人間関係を構築する場がリアル空間から仮想空間へ移行したことで依存を強めていると考えられる。また、スマートフォンの技術が日々向上して、利用者がルールやマナーに追いついていない課題もある。スマートフォン依存にならないために、運動や睡眠の確保や、使用時間や場所等家族内でのルールが必要である。また、スマートフォン依存によるリスクや弊害を広める必要がある。スマートフォンの利便性を活かしつつ、リスクを回避する知識をもち、健全な使用が求められる。(三二〇文字)

## 特別推薦小論文問題二

中室牧子『「学力」の経済学』ディスカバー・トゥエンティワン（二〇一五年）より一部改変して出題

問一

### 【出題意図】

・使用頻度の高いカタカナ語の意味を、正しく押さえているか否かを確認する。

### 【解答のポイント】

・正確な語義を知らなくても、文脈に照らして適当な意味を引き出せていたらよい。

### 【解答例】

①合意（同意でも可） ②証拠（根拠でも可）

問二

### 【出題意図】

・受験者の読解力及び要約力を検査する。

### 【解答のポイント】

・記述した文章の構成や階層構造が適切であり、他者に分かりやすい表現ができているか。  
・所得移転について開発途上国での例を引用できているか、その結果、因果効果が得られなかったことも明示できているか。

・実験結果として貧困家庭の学力向上に効果的な方法があることを指摘できているか。

### 【解答例】

開発途上国で親への所得移転として補助金が支給されたケースでは、補助金を得た親の子どもの学力の向上を示す因果効果が得られなかった。一方で、貧困家庭には少人数教育がとくに効果的であったとされる。このため、家庭における資源の格差を縮める方法として所得移転に拘らず、効果的な方法を検討する必要がある。（一四六文字）

問三

### 【出題意図】

・受験者の読解力及び自分の考えをまとめる力があるかを検査する。

### 【解答のポイント】

・記述した文章の構成や構想構造が適切であるか。  
・問題文と、これまで受けてきた教育を踏まえ、自分の考えを言葉にしてまとめることができているか。  
・問題点が明確に示されているか。  
・問題点として挙げたことに対する解決策ないし具体的にどのような問題が生じうるか、明

確に自分の意見としてまとめられているか。

**【解答例1】**

平等主義により、日本では教育実験が行われにくいため、施策の効果を正確に把握することが難しい。施策が誤っていたか、より効果的な方法はないかといった検証が遅れてしまう。効果的でない、あるいは逆効果をもたらす施策であれば、早急に変更できるように実験を行うことは、教育全体を考えると有益ではないか。(一四四文字)

**【解答例2】**

世代内での平等を重視しすぎると、教育施策の舵取りが間違っていた場合、世代間での不平等が生じる。学習内容の急激な変化がおきると、知識や世代間での考え方に急激な変化が起こり得る。当然得られていると考えていた知識がないことで、知識不足を指摘されて不利な状況に置かれる若者もいるのではないだろうか。(一四五文字)